

土地家屋調査士

調査・測量作業マニュアル

愛知県土地家屋調査士会

調査・測量作業マニュアル

目 次

第1編 基礎編

第1章 受 託	1
1 事前打合わせ.....	1
(1) 打合わせ事項.....	1
(2) 受託の可否判断.....	1
2 業務委託契約.....	1
(1) 記載例.....	1
(2) 業務委託契約書記載要領.....	4
3 受託カード.....	7
(1) 受託カード記載例.....	7
(2) 受託カード記載要領.....	10
第2章 資料調査	17
1 地 図.....	17
(1) 17条地図.....	19
(2) 地図に準ずる図面.....	26
(3) 図根点配置図.....	34
2 地積測量図.....	36
3 登記簿.....	39
(1) 表題部.....	39
(2) 甲 区.....	51
(3) 乙 区.....	54
4 法務局以外での調査.....	57
(1) 公共用地境界の資料.....	57
(2) 換地確定図.....	62

(3) 権利者保管図面	63
(4) 市町村備付けの地籍図	65
(5) 地元保管図	66
 第3章 現地事前調査	67
1 目的地の特定	67
(1) おおよその位置を特定する資料	67
(2) 目的地付近を特定する資料	67
(3) 目的地を特定する資料	67
(4) 特定の方法	67
2 現地調査の準備	70
(1) 調査素図の作成	70
3 利害関係人へのあいさつ	75
4 現地調査	76
(1) 調査図の作成	76
5 基礎測量の範囲の決定	78
(1) 市街地等で街区が明白な場合	78
(2) 村落農耕地等で街区境が明瞭でない場合	80
(3) 山林、原野の場合	81
 第4章 測量の準備	85
1 測量器具等の準備	85
2 トランシットの点検	86
(1) 点検の方法	86
(2) 第1の調整 托架気泡管軸の点検	87
(3) 第2の調整 十字縦線の点検	90
(4) 視準線と水平軸の直交	91
(5) 第3の調整 水平軸の点検	92
(6) その他の器械誤差	93
(7) 器械誤差と角度の測定方法	94
3 光波測距儀の点検	95
4 鋼巻尺の検定	96

(1) 鋼巻尺の検定	97
5 平板の点検	99
(1) 器具	99
(2) アリダードの点検	100
6 測量器械の運搬	101
(1) 自動車での運搬	101
(2) 現場での持ち運び	101
7 調査士としてのみだしなみ	102
(1) 服装	102

第2編 現業編

第5章 測量の基本 105

1 トランシットの設置	105
(1) 三脚のすえつけ	105
(2) 整準	105
(3) 求心	107
(4) 視準	107
(5) トランシットの取扱い	108
2 水平角の測定	109
(1) 単角観測	109
(2) 単角による1対回観測	110
(3) 単角による2対回(ついかい)観測	111
(4) 単角による方向法	112
(5) 方向法による1対回観測	113
(6) 倍角観測	114
3 磁方位	115
(1) 磁方位の求め方	115
(2) 磁北と真北	116
4 鉛直角の測定	117
5 距離の測定	120
(1) 光波測距儀	120

(2) 鋼巻尺	122
6 トラバース測量	124
(1) 観測点の座標計算	124
(2) 逆計算	126
第6章 筆界認定のための基礎測量	127
1 図根多角測量	127
(1) 図根多角点の選定	127
(2) 選定の条件	128
(3) 主要現況点の選定	129
(4) 観測	134
(5) 計算と図化	137
2 細部現況測量	139
第7章 調査図書類との照合	141
1 公図との照合が基本となる場合	141
(1) 基礎図	142
(2) 重ね図	143
(3) 基礎測量展開図	144
2 地積及び公図との照合を基本とする場合	149
(1) 重ね図	150
(2) 基礎図	151
(3) 基礎測量展開図	152
3 地積との照合を基本とする場合	156
(1) 基礎図	157
(2) 基礎測量展開図	157
(3) 仮点に基づく地積の計算と登記簿地積との対照	160
(4) 仮点移動による面積調整	160
(5) 境界点の仮設	160

第8章 境界立会い	161
1 立会いの依頼	161
(1) 官公庁への立会い依頼	161
(2) 民地境界の立会い依頼	168
2 立会い	169
第9章 境界標識の設置と引照点測量	173
境界標識の設置	173
(1) 永続性のある境界標識	173
(2) 埋設例	176
(3) 境界標識の使用方法及び使い分け	180
(4) 境界標識の設置	181
(5) 引照点測量	186
第10章 地積測量	189
巻末付録	
1 土地家屋調査士の数学	201
(1) 三角関数	201
(2) トラバース計算	202
(3) 座標の展開	204
(4) 座標変換	212
(5) シンプソン法(曲線を放物線と仮定する。)	214
(6) 半径Rと長弦Cが既知の場合の曲線長C L 欠円面積Qの計算	215
(7) 辺長の精度と面積の精度との関係	216
2 基準点測量の体系	217
(1) 測量の原点及び基準面	218
(2) 三角点成果表	220
(3) 基本測量・公共測量の成果に示される距離(S)	222

目次(終)